



# 高次脳機能障害研究班

## Higher brain dysfunction Research Group

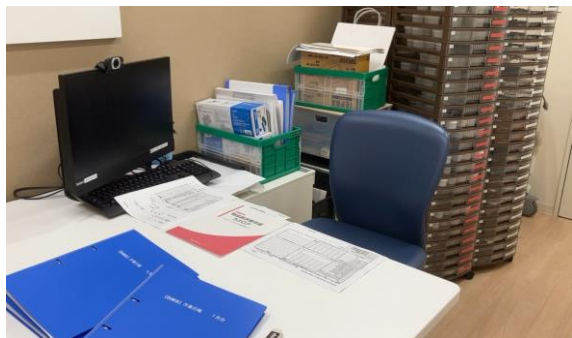
### 研究テーマ

Research Themes

### 研究班の活動内容

Research Group Activities

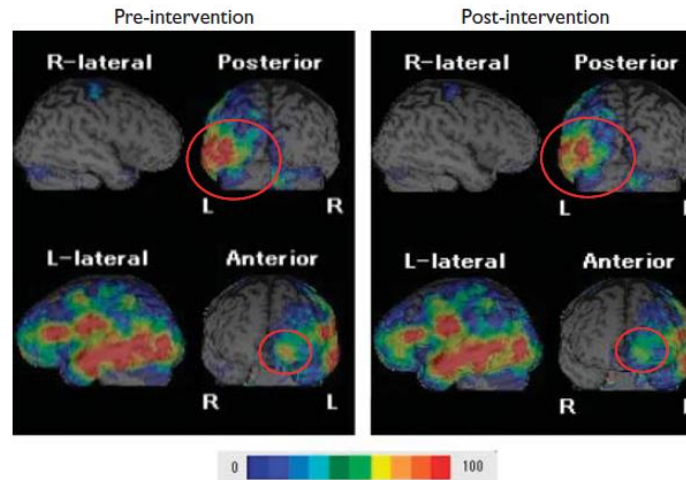
高次脳機能障害は、脳卒中や外傷が原因で脳が傷つくと起きる障害です。注意障害(集中できない, ミスが多くなる, 複数のことを同時にできない), 遂行機能障害(優先順位を決められない, 計画を立てて実行できない, 時間を守れない), 記憶障害(覚えられない, 繰り返し同じことを聞く), 社会行動障害(感情を爆発させる-感情コントロール低下, 子供っぽくなる-依存・退行, 我慢ができない-抑制低下, 一つの物事にこだわり続ける-固執)などの症状があります。



ワークサンプル幕張版

高次脳機能障害は外見から症状が分かりにくく周囲の方から理解されにくいいため、普段の生活や仕事に困難をきたすことがあります。当講座ではすでに失語症や上下肢麻痺に対するrTMS(経頭蓋磁気刺激治療)で本邦の先頭に立っていますが、それに加え高次脳機能障害に対するrTMS治療の研究も進めています。また、障害が残存しても続く生活を支えるため、自動車運転再開, 就労支援, 地域連携等についても注力しています。建学の精神である“病気を診ずして病人を診よ”を体現すべく、各班員が臨床・研究・教育に日々精力的に取り組んでいます。

- ・高次脳機能障害, 失語症等 のrTMS治療
- ・脳機能画像評価・解析・自動車運転再開, 安全運転
- ・復職支援, 就労支援, 就学支援
- ・急性期から回復期, 生活期までの一連の地域連携システムの構築
- ・集中治療後症候群と認知機能障害



ドライビングシュミレーター

アドバイザー	渡邊 修	東京慈恵会医科大学附属第三病院
リーダー	原 貴敏	国立精神・神経医療研究センター
メンバー	青木 重陽	神奈川リハビリテーション病院
	橋本 弦太郎	東京慈恵会医科大学附属第三病院
	秋元 秀昭	武蔵野赤十字病院
	上原 朋子	東京慈恵会医科大学附属病院
	濱 碧	東京慈恵会医科大学附属病院
	片木 真子	品川リハビリテーション病院
	櫻井 義大	東京慈恵会医科大学附属病院
	黒田 慶子	河北リハビリテーション病院
	吉田 健太郎	青森新都市病院
	池田 沙穂	東京慈恵会医科大学附属病院



研究班リーダー  
原 貴敏 講師